

TID 山形MODELの構築



やまがたの子どもたちの可能性を引き出すためのタレント発掘事業「山形モデル」を創り上げてきました。これまでの歩みに感謝し、次のステージに向けさらなる努力を続けていきます。

プログラム開発

スポーツ教育プログラム

ドリームキッズの知的能力育成プログラムは、仙台大学（スポーツ情報マスメディア学科）と連携し様々なプログラムを開発・提供しています。

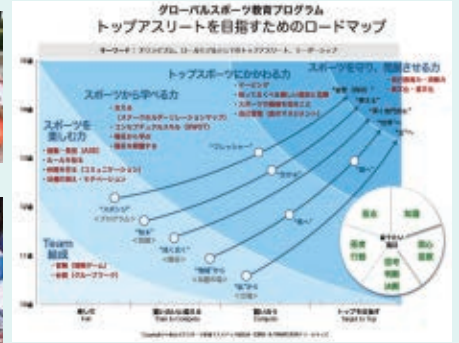
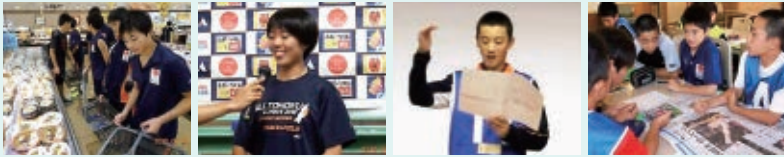
U12キッズ キャンプ

「スポーツを楽しむ力」
「スポーツから学べる力」



U15アスリート キャンプ

「トップスポーツにかかわる力」
「スポーツを守り、発展させる力」



チャレンジ キャンプ

トップレベルを体感 「武者修行プログラム」

書類選考により選ばれたキッズが参加できます。自分が決めた競技の情報収集と企画力、意識の高さが問われます。全国でもトップレベルの強豪校やクラブチームに飛び込んでいくため、運動能力だけでなく、コミュニケーション力と積極性が必要とされます。



後藤 真聖 DK6期生(葉山中3年)

日本記録保持者である澤野大地さんからご指導いただきました。助走を始める前に頭の中で跳躍を完成させてからスタートを切り、途中で止めないということやポールはほうきのように手の上でバランスを取り、踏切の6歩前から倒し始めることを教えていただきました。課題はたくさんありますが、澤野さんから頂いた言葉を自信にして、これから練習に励んでいこうと思います。



アスリートパスウェイ開発

中央・県内競技団体と 連携した事業

ドリームキッズのネットワーク 質の高い指導者陣

キッズの適性競技を支えているのは、専門的な指導者による評価です。キッズキャンプやトライアウト、競技団体プログラムを通して、繰り返し評価をもらいます。

U15競技団体トライアウト



県ボート協会

中央競技団体による選考



日本ボート協会

鈴木 伶奈 DK2期生(酒田光陵高→立命館大1年)

9歳の夏、ドリームキッズ募集のパンフレットを見た時からオリンピックへの挑戦がはじまりました。オリンピックは選ばれし人が立つ場所であり、誰でも目指すことができる場所でもあります。ドリームキッズの活動を通し、私の夢は目標に変わりました。10年経った今、世界への挑戦を続けながら、2024年フランスでは、必ず代表を手にします！



U12キッズキャンプ



日本ライフル射撃協会
県ライフル射撃協会

競技団体プログラム



県ライフル射撃協会

佐藤 琳 DK4期生 (成立学園高2年 JOCエリートアカデミー生)

オリンピック種目であるエアピストルを始めて2年がたちました。日々の練習や試合の中で、実力が伸びてきているのを実感しています。国際試合でファイナルに残ることを目指し、国内では、高校生のうちに日本代表になることを目標にしています。

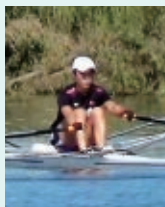


中央タレント発掘への チャレンジ

世界での活躍を夢見る全国の仲間と切磋琢磨するプログラム

将来性の豊かな地域のスポーツタレント又はアスリートから、メダル獲得の潜在能力を有するメダルポテンシャルアスリートとなり得る人材を発掘するプログラムです。

ジャパン・ライジング・ スター・プロジェクト (J-STAR PROJECT)



池田 有里 / DK1期生(立命館大1年) 陸上競技→ボート

「自分に限界を決めたくない。よりレベルの高い舞台で戦えるアスリートになりたい。」その一心で10年間続けてきた陸上を離れ、ボート競技に挑戦することを決めました。今は、日々様々なことを吸収し、大学で日本一を取ることを目標に頑張っています。



本間 桃果 / DK7期生(酒田六中2年) 陸上競技 / ウエイトリフティング

ライジングスターに選ばれて、たくさんのコーチに指導して頂き、もっと上手くなってもっと強くなりたいと思いました。これからはさまざまな大会に参加していきますが、常にトップを狙って挑戦を続け、練習を重ねて行きたいです。